100%

股・膝関節の人工関節置換術施行患者に対する早期リハビリテーション実施率

Process

測定値の定義・計算方法

分子：　分母のうち、手術当日から数えて4日以内にリハビリテーションを実施した患者数

分母：　股・膝関節の人工関節全置換術を施行した退院患者数

活動のきっかけ

人工関節置換術は、OARSI のガイドラインにて、非薬物療法と薬物療法の併用によって十分な疼痛緩和と機能改善が得られない場合に有効とされ、費用対効果も高い手段であると言われており、術後のリハビリテーションは合併症の予防と機能回復の観点、早期に実施されることが望ましいとされている。従って、術後患者に対してリハビリテーションを提供する体制の構築が必要であり、他病院とのベンチマークを行い、実施体制の構築に向けて取り組む必要がある。

改善活動部門

● リハビリテーション部

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
• 股・膝関節の人工関節置換術患者100件に対し、早期リハビリテーション実施率100%を達成し、目標値95%を上回った。 • 年間を通して各月100%を維持しており、対象患者を確実に術後早期のリハビリテーションへつなげる体制が定着している。 • 診療科との連携により、術後早期からリハビリテーションを開始する提供体制を継続することができた。	• 早期リハビリテーションの実施体制は定着しており、実施率については高い水準を維持できている。 • 今後は実施率100%を維持するとともに、早期介入・早期退院に向けたリハビリテーションプロトコルの整備と運用の標準化を進める必要がある。 • 介入時期だけでなく、プロトコルに沿ったリハビリテーションが実施できているかを確認し、提供するリハビリテーションの質向上につなげていく。